

はじめに

京都人権啓発推進会議では、平成7年度から「人権ゆかりの地をたずねて」を発行していますが、今回で第5集を数えることになりました。

この冊子は、京都府内に残る人権ゆかりの場所をたずねて、そこで生きた人々の歴史などを振り返るなかから、さまざまな人権問題について学び、私たちの人権意識が高まることを期待し、作成しました。

「人権の世紀」といわれる21世紀を間近に控え、人権尊重を日常生活の習慣として身につけ、一人ひとりがお互いの個性や価値観の違いを認め合い、共に生きていける社会を実現するための努力が、私たちには求められています。

(財)世界人権問題研究センターや多くの先生方のご協力を得て、これまでに48話を紹介してまいりましたが、幸いにも多くの方々からご好評をいただいております。

今回は、地域版の第2編として京都府の丹波・丹後地域の「人権ゆかりの地」をたずねました。

この冊子が、人権に関わる問題を自分の身近な問題として考えていただく一助となり、人権への関心を深めていただければ幸いです。

平成12年2月

京都人権啓発推進会議